

体験型食の安心・安全意見交換会を海洋センターで開催

平成25年9月13日
食の安心・安全推進課

去る9月10日、魚介類に関するリスクコミュニケーションを海洋センターで開催し、魚が病気に罹っていないか検査する魚体調査の体験や、貝や魚の養殖現場を見学するなど、体験型の取組を行いました。

参加者のアンケート

- 「分かりやすかった」との回答が100%でした。
- 主な意見
 - ・ 魚介類が厳しく検査されていることが分かり、安心しました。
 - ・ 天然と養殖では、天然ものが安全という考えであったが、養殖ものもしっかり管理されており、安全だと分かった。
 - ・ 今後、養殖技術が重要になってくるので、海洋センターの研究がますます大切になってくると思いました。

記

- テーマ：体験型食の安心・安全意見交換会～魚介類の安心・安全対策を知ろう～
- 日時：平成25年9月10日（火）13～16時
- 参加者：府民17名
- 概要：

【話題提供】



魚介類の病気の基礎知識と安全な養殖魚の生産のための対策について説明

【魚体検査実習】



魚を解剖して、取り出した腎臓から菌を分離する体験

【海面養殖現場の見学】



全国で京都府だけが養殖に成功しているトリガイの養殖現場などを見学

【意見交換会】



参加者からの質問に回答